

東日本大震災の避難経験について、あなた個人のことを教えてください。

(書けること・書いてみたいことだけで構いません。)

記入日 2025年 9 月 16 日

避難のきっかけを教えてください。 (行き先はだれが／どうやって決めましたか?) 子どもたちに促され、避難した。(子どもの元へ) 子どもは、職場に阪神大震災の経験者があり、冷静に判断していた。	避難の足どりを教えてください。 (いつ／だれと／どうやって) 震災後、水素爆発してから、夫と二人で車で空航に向かい、そこから、飛行機で移動。	何を持って／置いて避難しましたか？ (エピソードもあれば教えてください) 少しの衣類と預金通帳と現金を持って出ました。 慌てていたせいか、小銭の方の定期を持ち出し、大きな金銭の方はおいてまま。その後1ヶ月で戻り、取り出した。	避難先への移動中のことで、印象に残っている光景や出来事がありますか？ 空港の中は、ごつたがえいいて食べ物もなくなり、チケットが(子どもたちがとってあげた)とれなければ、一人だけ先にいき、空港の中で泊る予定だが何とか二枚がとれ、一緒に移動した。
避難先ではじめて迎えた夜・朝についてどんなことを覚えていますか？ 息子の家だったため、安眠できたが、犬・猫のことが頭から離れなかった。	避難先でびっくりしたことはありますか？ 皆、とても親切で、TVでやっていった始末がうそなど全くなかった。	あなたの支えとなったものは何ですか？ この地にきて、娘、息子が支えになった。	住んでいた場所に戻ったのはいつですか？ そのとき、どんなことを感じましたか？ 一ヶ月後に戻り、犬猫が生きていたことに感謝し、必要な物、預金通帳を持ち出すことができたが、これからどうなるのだろうという不安がいっぱい。
震災後の今の生活に慣れるまでかかった時間はどのくらいですか？ 地理にも慣れ、地域の人との交流もできたのが、半年位でした。	震災や避難をとおして、もやもやしていることはありますか？ 十分な補償に感謝しているが、地域差は難しいことなのだろうと、考えさせられます。	今ふり返ると、避難経験はあなたにとってどんな意味を持ちますか？ 私にとっては、第二の人生の始まりのような毎日です。 老後に回っては、住みよい町に移住できたと感謝しています。	あらためて避難経験について話すとしたら誰と、どんなことを話したいですか？ 孫や友達に、日常と水の大切さを伝えたいです。
現在のあなたのことを教えてください。 年齢 77歳 住んでいる地域 北海道札幌市 ご職業など 無し	ほか、思い出したことや書きたいことなどあれば、ご自由にお書きください。		